

新宮山彦ぐるーぷ第2382回

故山川治雄氏の慰霊と玉置山

◇実施日 8月24日(日) 晴

◇参加者 沖崎吉信、濱野兼吉、湯川一郎、阪口雄二、畑林秀味、

大江加予子・徳子、山川自知、西克、高階美根子、上

村和美、梶野照雄、村吉光夫、榎本真仁、山本直子、

志岐敬 ゲスト；尾崎規文・弘美(紀宝町)、出原里

美(勝浦) 19名

4年前のあの日、梶野君からの一報で現場へ駆けつけ、山川さんと対面したことは忘れられない。

方からの5名を含め19名もの多くの方々が呼応してくださった。上村さんの紹介で3名の方も加わり、玉置辻に予定よりかなり早く到着されていたので、昨年新調した玉置辻の祠の掃除と檜の取り換えをしてくださった。祠製作者の児嶋さんは、両手首に違和感があり、本日は急遽欠席となった。電話で「俺もいよいよ商売も山行も先が見えてきた」と弱気な話もあった。畑林清子さんの骨折や生熊敏男さんの手術もあり、山彦の先輩たちの心配事も増えてきた。午前9時過ぎ、皆さんに挨拶し本日の予定を説明した後歩き出した。予定通り30分で現場に着き、祭壇を準備する。7月に大阪高槻市の林さんと言う方から電話があり「山川さんには生前大変お世話になったので、一度現場を訪ねたいので地図を送っていただきたい」とのことだった。8月7日に訪問してきた。と後日電話を頂いた。現場には花と酒が供えてあった。



玉置辻で

林道を歩く

祭壇を準備

あれからちょうど4年になり、その慰霊行事を呼び掛けた結果、遠

般若心経を唱える

工事中の玉置神社

勸業碑前で休憩

大江さんがお供えや花を手際よく並べて、全員で線香を供え般若心



経を唱えて山川さんを慰霊した。

慰霊の後、いつものように玉置神社に向かって登る。20分ほどで神社に着いたが、途中の道はよく手入れされていて、以前ブッシュを刈りながら進んだ場所も広く刈り取られ、歩きやすくなっていた。神社では月並祭を終えたばかりの榎谷宮司にご挨拶。宮司からは「いつもありがとうございます。何か協力できることがあれば、いつでもおっしゃってください」とお言葉を頂いた。



玉置山山頂

本日の参加者

玉置辻に戻る

例年はここから奥駈道を下山するが、お昼までまだ時間があり、今日は勧業碑経由で玉置山山頂に登ってから下山することにした。先月股関節を人工関節にする手術をした榎本君は玉置神社から下山された。勧業碑までの捲き道も以前より整備が進んで、10分ほどで到着し休憩する。勧業碑と上平主税の石碑について説明させていただいた。休憩後、山頂まで10分ほど登って昼食にした。風もなく暑いので木陰を探して逃げ込んだ。

神社に参拝された方も多数山頂まで登ってきていた。中にはサンダルで登っている強者もいる。30分ほどで昼食を終え下山。玉置神社で集合写真を撮り、奥駈道で玉置辻に戻った。

皆さん暑い中、お疲れさまでした。本日の行事は山川さんの慰霊であるが、今後係る事故を起こさない、安全第一を誓う日でもある。

行動タイム

玉置辻 09:15→09:45 慰霊現場 10:05→10:28 玉置神社→11:01
勧業碑 11:16→11:28 玉置山山頂 11:59→12:17 玉置神社→13:00 玉置辻